

1 単元名

自動車の本を読んで、好きな自動車の発表会をしよう。
(教材文「じどう車くらべ」)

2 指導観

<教材観>

本単元では、「じどう車くらべ」の学習を生かし、好きな自動車の本を読んで、わかったことや感心したことを伝える発表会ができることをねらいとしている。

本教材「じどう車くらべ」は、児童の身近にある自動車を取り上げた説明文である。児童の自動車に対する興味・感心は大変強く、知識も豊富である。そんな自動車についての新しい見方を知らせる文章であることから、楽しい説明文の読みを体得することができる教材である。

この教材は、「話題・問題提起→問題に対する説明」を自動車の「しごと」と「つくり」という二つの事柄の因果関係で述べる説明の仕方をしている。第一段落で話題と問題提起、第二～第四段落では、三種類の自動車の「しごと」と「つくり」が同じ順序で繰り返し説明されているため、子どもたちが事柄の順序を考え、正確に読みとることを学ぶのに適した教材であるといえる。また、「そのために」「～ように」などの理由や目的を表す言葉を使い、自動車の「しごと」と「つくり」を関係づけて読み進める視点を持つように書かれている。そのため、それらに着目することで、関係認識の基礎を培い、低学年における論理的思考を育てることができる。

単元末では、教材文での学習を生かして、それぞれの児童が自分の好きな自動車を選び、それについて書かれた本を読んでわかったことや感心したことを知らせる「じどう車ずかん」をつくり、お互いに知らせる発表会を開く。自分の好きな自動車について「自動車カード」に特徴や仕事を説明しまとめることで、内容の大体を読みとる力を育てることができる。そして、出来上がったカードを紹介しあう活動を持つことにより、さまざまな自動車への関心を広げ、科学的な読み物への読書意欲をいっそう高めることができる。

自分が読みたい本を決定し、よく読み、感じたことを伝えるこの活動は、児童の読書の幅を広げ、新しく知る楽しみを感じながら読書しようとする態度を育む上で意義深い。

<単元のねらいと評価規準>

○ 「じどう車くらべ」の学習を生かし、好きな自動車の本を読んでわかったことや感心したことを伝える発表会をしよう。

<ひろげる>

○ 「じどう車くらべ」の学習をもとに、自分が選んだ自動車の特徴(しごと・つくり)を読みとることができる。

(読むことイ エ)

○ 自分が読みとったことと感動したことを、内容が分かるように紹介し合うことができる。

(読むことア オ)

【表現する力】

<ふかめる>

○ 自動車について「しごと」と「つくり」の関係を考えながら内容の大体を読むことができる。

(読むことイ)

○ 毎時間気に入ったところの音読をすることができる。

(読むことア)

○ 自動車のしごとやつくりについて感じたことをまとめ、発表しあうことができる。

(読むことア オ)

【読む力】

<であう>

○ 自動車に興味・関心を持って読むことができる。

(読むことイ)

○ 自動車についての読み物に興味を持ち、読みたい本を見つけて読むことができる。

(読むことカ)

【関心・意欲・態度】

<児童の実態>

本学級の児童は、説明的な文章については、「いろいろなくちばし」で挿絵と文を照らし合わせながら書かれていることの大体を読みとる学習をした。初めて説明的な文章に触れた子どもたちは、同じ「くちばし」でも、じっくりと視点を当てると一つ一つ違うくちばしに興味を持ち、挿絵や言葉を追いながら読んでいた。また、説明文の基本的なパターンである「問いー答え」という文型を学び、文末表現を手がかりに問いを見つけ、その問いに対する答えを確認しながら読み進めることができた。しかし、主体的に文や絵から内容の大体を読みとったり、二つのものの関連を明確にして読みとったりする力はまだ身につけていない。

読書活動については、本を読むことが好きな児童が多く、朝読書の時間に集中して本を読んでいる。また、休み時間に図書室を利用する児童や、学級の図書コーナーから進んで本を手にとって選び、意欲的に読む姿も見られる。図鑑などを好んで読む児童もいるが、大半の児童が物語を読み、科学的な読み物を自分の力で読んで新しい情報が増えていくことの楽しさを味わうまでには至っていない。

このような実態から、本単元を通して説明的な文章の読み方を理解し新たな知識を獲得する読書の楽しさを味わわせ、いろいろな読み物を楽しんで読書しようとする態度を育てたい。

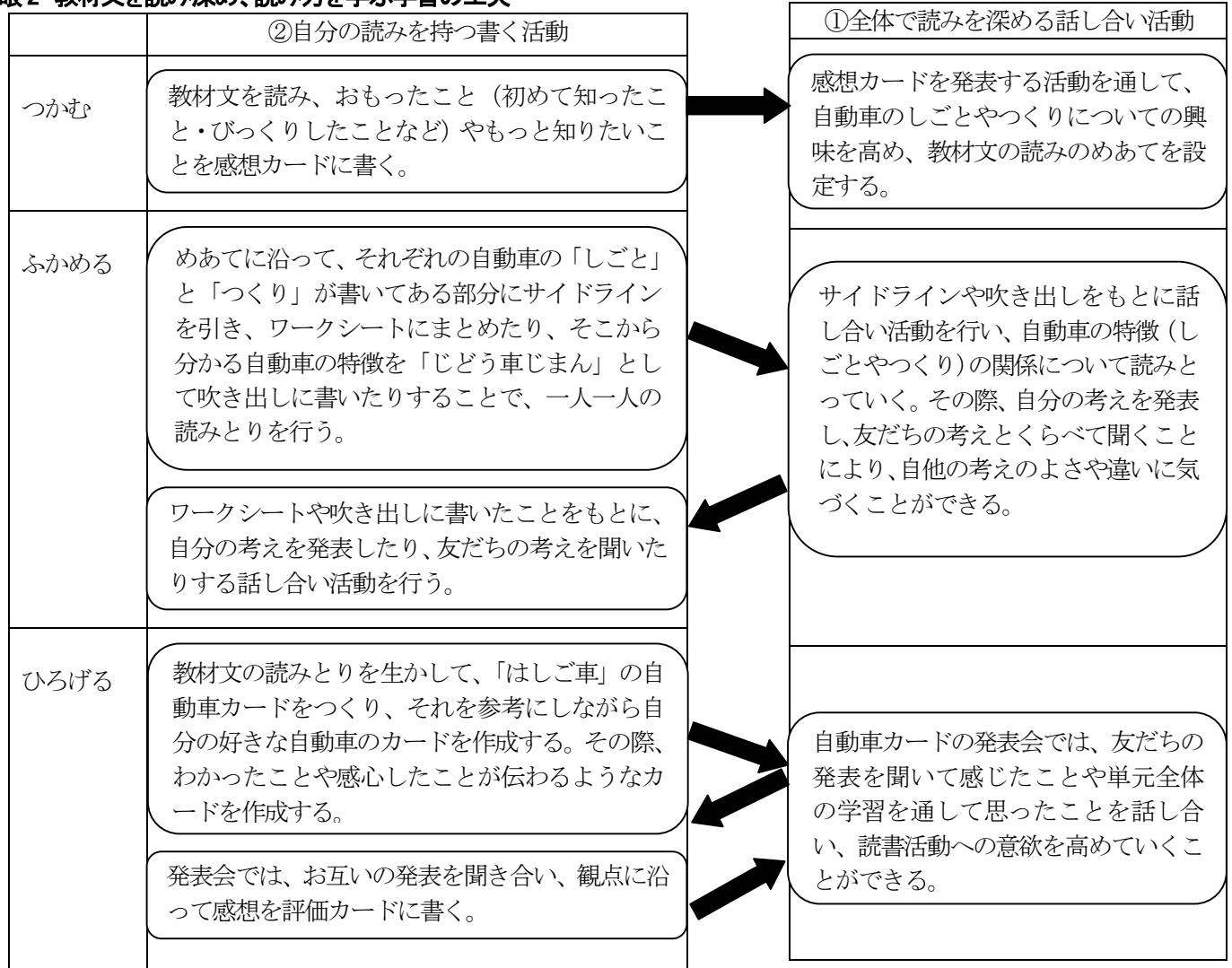
3 単元の研究仮説(指導観)

説明的文章を読み、書かれている事柄の順序を考えながら内容の大体を読みとることを重点課題として取り上げ、次のような着眼に沿って学習を進めれば、楽しんで読書をする子どもの姿が生み出されるであろう。

着眼1 読書活動を位置づけた単元の設定と単元構成の工夫

①単元設定	
「じどう車くらべ」の学習を生かし、好きな自動車の本を読んでわかったことや感心したことを伝える発表会をしよう。」を単元のめあてとして設定し、目的意識を持って学習を進めることができるような単元構成の工夫を図る。	
②単元構成	
つかむ	知っている自動車について話し合ったり、教師によるクイズを交えた自動車の紹介を聞いたりすることで興味・関心を持って教材文を読む。範読後、いろいろな自動車の本を紹介し、「わかったことや感心したことを伝える発表会をしよう」という目的意識を持つ。その後、教材文を読んで初発の感想を発表し合い、学習計画を立てることによって見通しを持って学習を進めていく。
ふかめる	1 単位時間のめあてに沿って読みとったことをもとにした話し合い活動を行い、自他の考えのよさに気づく。その際、書かれている事柄の順序と条件や理由を表す言葉に着目し、自動車の「しごと」と「つくり」の関係を読みとるとともに、説明する文章の書き方を学ぶ。そして、「クレーン車」の読み取りをしながらしごとに合わせてつくりを見つける活動を行うことで、自分の自動車ずかんづくりへの見通しを持つ。
ひろげる	教材文を通して学習した読みの観点を生かして、「はしご車」の自動車カードを作る。その後、各自の読書で選んだ自動車の特徴(しごと・つくり)が友達に伝わるように自動車カードにまとめる。そして、友だちや上学年に自動車ずかんを紹介する発表会を行う。

着眼2 教材文を読み深め、読み方を学ぶ学習の工夫



③はじめの学習内容確かめの音読、終わりの自分の読みを確かめる音読

毎時間、学習の始めと終わりに音読を行い、めあてやねらいにせまる音読を行う。発表会では、紹介したい本で自分が一番好きなどころを選び、理由が伝わるような音読をすることができる。

着眼3 学び合ったことが分かる評価活動(自己評価・相互評価)

各時間のめあてに照らした自己評価・相互評価を行い、毎時間、一言コメントを評価カードに書き、自分の学習の成果を実感する。

教師の評価では、評価規準をもとにした評価を行い、発言やノートからよさを認めたり励ましたりするコメントを一人一人に書き、次時への意欲を高める。

教材の読み取りの観点

はしご車	クレーン車	トラック	バスとじょうよう車	はじめ
<p>そのために</p> <p>どんなしごとをしていますか。</p> <p>どんなつくりになっているのでしょうか。</p>	<p>そのために</p> <p>○じょうぶなうでがのびたりうごいたりする。</p> <p>○しっかりしたあしがついている。</p> <p>→(わけ)車たいがかたむかないように</p>	<p>そのために</p> <p>○ひろいになんてなっている。</p> <p>○タイヤがたくさんついている。</p> <p>●トラックはにもつをはこぶしごとをしている。</p>	<p>そのために</p> <p>○ぎせきのところがひろくつくつてある。</p> <p>○大きなまどがたくさんある。</p> <p>→(わけ) そとのけしきがよく見えるように</p> <p>●バスやじょうよう車は人をのせてはこぶしごとをしている。</p>	<p>じょうよう車へん</p> <p>いろいろなじょうよう車がはしっている。(話題)</p> <p>●どんなしごとをしているか。(問題提起)</p> <p>○どんなつくりになっているか。(問題提起)</p>

4 単元計画(総時数10時間)

段落	配時	学習活動	教師の支援	評価項目
であう		<p>1 教材文に出会い、単元のめあてと本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) めあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 知っている自動車について話し合う。 自動車の紹介を聞く。 図鑑の紹介を聞く。 <p>・「じどう車くらべ」の範読を聞く。</p>	<p>○ 自動車の興味や学習意欲を持たせるために、知っている自動車の名前を出し合う。</p> <p>○ 教師がいくつか自動車の写真をクイズ形式で紹介し、まだ知らない自動車がたくさんあることに気づかせるとともに、図鑑について知らせ、単元のめあてにつなげる。</p> <p>○ 「くらべ」に着目させ、題名から内容を想像させる。</p>	<p>・おもしろいと思ったこと(初めて知ったこと)やもっと知りたいことを感想カードに書くことができる。</p>
		<p><単元のめあて></p> <p>すきなじどう車の本をよんで、わかったことやすごいなとおもったことをしらせるはっぴょうかいをしよう。～じどう車ずかんをつくらう～</p>		
		<p>2 全文を読み、感想を持つ。</p> <p>(1) 「じどう車くらべ」の全文を読む。</p>	<p>○ 教師と児童で追い読みを行い、教材文を正しく読ませる。</p>	
		<p>「じどう車くらべ」をよんで、かんそうをかこう。</p>		

	<p>(2) 感想を書く。</p> <p>3 本時学習のまとめをする。</p> <p>(1) 本文を音読する。</p> <p>(2) 本時学習を振り返って、自己評価をする。</p>	<p>○ 視点に沿って、色分けしたカードに感想を書かせる。</p> <div data-bbox="780 165 1374 327" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><感想の観点> ・おもったこと・・・きいろ (はじめてしたよ、びっくりしたよ、おもしろかったよ) ・もっとしりたいところ・・・ピンク</p> </div> <p>○ それぞれ興味を持ったところや心に残ったところを音読することで本時の学習を振り返らせる。</p> <p>○ めあてに照らして自己評価をさせることで、次時学習への意欲を高める。</p>	
<p>②</p>	<p>1 本時のめあてを確認し、音読する。</p> <p>(1) めあてを確認する。</p> <div data-bbox="277 701 1129 750" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>かんそうをはっぴょうしあって、がくしゅうのめあてをきめよう。</p> </div> <p>(2) 全文を音読する。</p> <p>2 感想カードをもとに発表し合い、読みのめあてをたてる。</p> <p>(1) 感想を出し合う。</p> <p>(2) 読みのめあてを話し合う。</p> <div data-bbox="277 1128 1362 1422" style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p><学習課題> いろいろなじどう車の「しごと」と「つくり」をよみとってくらべよう。 <読みのめあて> 1 バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」をよみとろう。 2 トラックの「しごと」と「つくり」をよみとろう。 3 クレーン車の「しごと」と「つくり」をよみとろう。 4 じどう車くらべをしよう。</p> </div> <p>3 本時学習のまとめをする。</p> <p>(1) 音読をする。</p> <p>(2) 本時学習を振り返って自己評価をする。</p>	<p>○ 本時のめあてを確認して、全文を音読し、本時の学習のめあてをつかむ。</p> <p>○ 全文を音読し、内容を確認させ、自分が書いた感想や疑問が書いてある部分(自動車)を確認する。</p> <p>○ 色分けした感想カードをまとまりごとに分類しながら発表させる。</p> <p>○ カードが集中しているところやもっと知りたいことに着目させながら学習のめあてを話し合わせる。</p> <p>○ 好きなところを選んで音読させる。</p> <p>○ 次時学習への意欲をもたせるために、観点別の自己評価と、教師による評価を加えるようにする。</p>	<p>・感想を発表し、学習計画をたてることができる。</p>
<p>③</p>	<p>1 本時のめあてを確認し、音読する。</p> <p>(1) めあてを確認する。</p> <div data-bbox="288 1711 1273 1760" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」をよみとろう。</p> </div> <p>(2) 学習段落を音読する。(二段落)</p> <p>2 バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」を読み取る。</p> <p>(1) バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」が書かれているところにサイドラインを引く。</p>	<p>○ 学習のめあてと拡大教材文を掲示しておく。</p> <p>○ めあてを意識して一斉音読をさせる。</p> <p>○ バスとじょうよう車についてどんな自動車なのかを子どもたちの言葉で説明させ、確認をしてから読み取りに入る。</p> <p>○ 「しごと」がかかれているところに赤線、「つくり」がかかれているところに青線で色分けをしてサイドラインを引かせる。</p>	<p>・バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。</p>

(2) しごととつくりを話し合っまとめる。

<てがかりとなる言葉>

- ・しごと (をしています。)・そのために
- ・～ように・つくってあります。

- ・読み取ったことを自動車自慢として心の吹き出しに書く。
- ・自動車自慢を発表しあう。

・見てみて！わたしのからだには、たくさんまどがついているのよ。大きいから、そとのけしきがよくみえるよ。
 ・えっへん！ぼくのからだには、たくさんすわるころがあるんだよ。だから、みんなを、いろんなところにつれていけるんだよ。
 ・すごいでしょう！わたし、みんなですわるために、させきのころがひろいのよ。



バスやじょうよう車は、人をのせてはこぶしごとをして、います。そのために、させきのころがひろく、つくって、あります。そとのけしきがよくみえるように、大きなまどが、たくさんあります。

- 「そのために」という言葉の、「その」がさすものに注目させ、しごととつくりの関係(しごとに合わせたつくりになっていること)に気づかせる。
- 「～がよくみえるように～あります。」の「ように」の働きを考えさせる。
- 読み取った自動車の特徴(しごと・つくり)を、自動車がみんなに伝えるように自動車になりきって、心の吹き出しに書かせる。

- 自慢の言葉(見てみて！えっへん！どうだ!)を自分で考え、文頭につけさせる。
- じどう車じまんにつなぎ言葉が入っている吹き出しを紹介し、「そのために」の学習を生かす。
- 心の吹き出しをもとに発表し合い、自分の考えと比べながら聞かせる。
- 学習段落を讀みのまとめを意識しながら音読させる。
- 次時学習への意欲をもたせるために、観点別の自己評価と、教師による評価を加えるようにする。

3 本時学習のまとめをする。

- (1) 場所を決めて音読する。
- (2) 学習を振り返って、自己評価をする。

ふかめる

④

1 本時のめあてを確認し、音読する。
 (1) めあてを確認する。

トラックの「しごと」と「つくり」をよみとろう。

(2) 学習段落を音読する。(三段落)

2 トラックの「しごと」と「つくり」を読み取る。

(1) トラックの「しごと」と「つくり」が書かれているところにサイドラインを引く。

(2) しごととつくりを話し合っまとめる。

○ 掲示物を用いて前時の学習を振り返る。

○ 本時のめあてを意識しながら、一斉音読する。

○ トラックについてどんな自動車なのかを子どもたちの言葉で説明させ、確認をしてから読み取りに入る。

○ 前時のバスやじょうよう車と比べながら読み進めていく。

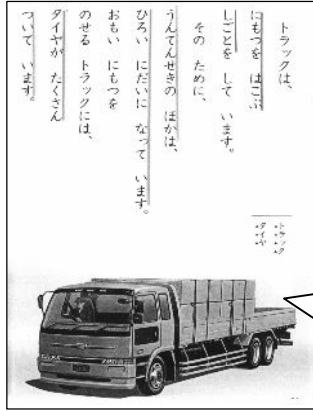
○ 「しごと」がかかれているところに赤線、「つくり」がかかれているところに青線で色分けをしてサイドラインを引かせる。

○ 「そのために」という言葉の「その」がさすものに注目させ、しごととつくりの関係(しごとに合わせたつくりになって

・トラックの「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。

<てがかりとなる言葉>
 ・しごと (をしています。)・そのために
 ・なっています。・ついています。

- ・読み取ったことを自動車自慢として心の吹き出しに書く。
- ・自動車自慢を発表しあう。



- 3 本時学習のまとめをする。
- (1) 場所を決めて音読する。
 - (2) 学習を振り返って、自己評価をする。

- いること) に気づかせる。
- わけを表す言葉「ために」を使ってトラックのタイヤのつくりの文を書き表させる。
- 読み取った自動車の特徴(しごと・つくり)を、自動車がみんなに伝えるように自動車になりきって、心の吹き出しに書かせる。
- 心の吹き出しをもとに発表し合い、自分の考えと比べながら聞かせる。

・ほら見て！ぼくのたいは、とってもひろくて、にもつをたくさんつめるんだよ！すごいでしょ。
 ・えっへん！ぼくはちからもち。たいやもたくさんついているから、どんどんはこぶよ。
 ・見てみて！おもいにもつも、かたん人にはこべちゃう。だって、たくさんタイヤがついているんだもん。

- 学習段落を、読みのまとめを意識しながら音読させる。
- 次時学習への意欲をもたせるために、観点別の自己評価と、教師による評価を加えるようにする。

- ⑤ 1 本時のめあてを確認し、音読する。
- (1) めあてを確認する。

クレーン車の「しごと」と「つくり」をよみとろう。

- (2) 学習段落を音読する。(四段落)

- 2 トラックの「しごと」と「つくり」を読み取る。

- (1) トラックの「しごと」と「つくり」が書かれているところにサイドラインを引く。

- (2) しごととつくりを話し合っまとめる。

<てがかりとなる言葉>
 ・しごと (をしています。)・そのために
 ・つくってあります。・ついています。

- 掲示物を用いて前時の学習をふり返る。

- 本時のめあてを意識しながら、一斉音読する。

- クレーンについてどんな自動車なのかを子どもたちの言葉で説明させ、確認をしてから読み取りに入る。

- 他の自動車と比べながら読み進める。
- 「しごと」がかかれているところに赤線、「つくり」がかかれているところに青線で色分けをしてサイドラインを引かせる。

- 「そのために」という言葉の「その」がさすものに着目させ、しごととつくりの関係(しごとに合わせてつくりになっていること)に気づかせる。

- 「つりあげる」を動作化させ、意味をとらえさせる。また、うでをのぼしたり、うごかしたりする動作をさせ、重たいものを持つときは足を踏ん張ることが大切であることに気づかせる。

- ・ クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。

- ・読み取ったことを自動車自慢として心の吹き出しに書く。
- ・自動車自慢を発表しあう。



- 「うで」「あし」「車たい」がクレーン車のどの部分なのか挿絵を見ながら確かめる。
- わけを表す言葉「ように」の言葉に着目させる。
- 読み取った自動車の特徴（しごと・つくり）を、自動車がみんなに伝えるように自動車になりきって、心の吹き出しに書かせる。
- 心の吹き出しをもとに発表し合い、自分の考えと比べながら聞かせる。

・えっへん！ぼくはおもたいものでも、つりあげることが出来るよ。じょうぶなうでとあしがあるから、どんどんもちあげられるよ。
 ・見てみて！わたしのあしはとってもしつかりしているの。だから、おもいにもつをもつても、ふらふらしないのよ。

- 3 本時の学習のまとめをする。
- (1) 場所を決めて音読する。
 - (2) 学習を振り返って、自己評価をする。

- 学習段落を、読みのまとめを意識しながら音読させる。
- 次時学習への意欲をもたせるために、観点別の自己評価と、教師による評価を加えるようにする。

⑥

- 1 本時のめあてを確認し、音読する。
- (1) めあてを確認する。

じどうしゃくらべをしよう。

- (2) 全文を音読する。
- 2 3種類のじどう車の「しごと」と「つくり」を比べる。

- (1) それぞれの自動車のしごととつくりをワークシートにまとめる。
- (2) ワークシートをもとに発表し合い、気づいたことを話し合う。

・じどう車は、それぞれのしごとにあったつくりをしている。

- 3 本時の学習のまとめをする。
- (1) 全文を音読する。
 - (2) 学習を振り返って、自己評価をする。

- 掲示物を用いて前時の学習をふり返る。
- めあてを意識して、一斉音読をさせる。
- 前時までに読み取りながら作成してきた自動車カードをもとに、しごととつくりをまとめさせる。
- それぞれの自動車には、しごとに合わせたつくりがあることを確認する。
- 1段落の「いろいろなじどう車が」に着目させ、他にはどんな仕事をする自動車があって、そのためにはどんなつくりになっているのだろうかという課題を持たせ、次時活動への意欲につなげる。

・3種類の自動車を比べ、それぞれの自動車がしごとにあったつくりをしていることに気づくことができる。

- すきなところを、読みのまとめを意識しながら音読させる。
- 次時学習への意欲をもたせるために、観点別の自己評価と、教師による評価を加えるようにする。

	<p>⑦ 1 前時学習を振り返り、本字学習を確認する。</p> <p>(1) 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">はしご車のじどう車カードをつくろう。</div> <p>(2) 学習場面を音読する。(96 ページ)</p> <p>2 3 種類の自動車についての読み取りで学習したことを生かして、「はしご車のじどう車カード」を書く。</p> <p>(1) はしご車のしごととつくりを考え、じどう車カードを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はしご車のしごとを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>[しごと]</p> <p>はしご車は、かじのときに、たかいところにいる人をたすけたり、たかいところの火をけしたりするしごとをしています。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・はしご車のしごとに合ったつくりを見つけ、説明する文を書く。 <p>(2) はしご車のつくりについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>[つくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ながいはしごが、のびたりちぢんだりするようにつくってあります。 ・たかいところにいる人をたすけられるよう、うでをのぼすことができます。 ・はしごをたかくのぼしても、車たいがかたむかないように、じょうぶなあしがついています。 ・しょうぼうしをのせられるように、はしごにバスケットがついています。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・はしご車の自動車自慢を書き、話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>[つくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、かじのときにたかいところにいる人を、たすけることができるよ。<u>そのために</u>、ぐんとのびるうでがあるのよ。 ・このバスケットをどんどん上にはこぼよ！だから、しょうぼうしの人を、たかいところまではこべるんだ。 ・ぼくは、うでをのぼしたり、ちぢめたりして、いろんなたかさの火をけすことができるんだぞ。すごいでしょ。 </div> <p>3 本時の学習のまとめをする。</p> <p>(1) 場所を決めて音読する。</p> <p>(2) 学習を振り返って、自己評価をする。</p>	<p>○ 教材文から読み取ったことをまとめて掲示しておく。</p> <p>○ めあてを意識して一斉音読をさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p><自動車カードの型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介する自動車の挿絵 ・しごととつくりの説明 ・自動車自慢 </div> <p>○ 「つくり」から「しごと」を想像しやすいように、伸び縮みするはしごや車体を支える足など、クレーン車の車体と似ている点に着目させ、比べながら考えさせる。</p> <p>○ これまでの自動車の説明のパターンに合わせてカードに書き込ませる。</p> <p>○ 自動車カードをもとに話し合う。</p> <p>○ 話し合った「しごと」と「つくり」を考えながら自動車自慢を書かせる。</p> <p>○ 自分のまとめたはしご車の自動車カードを音読させる。</p> <p>○ 次時学習への意欲をもたせるために、観点別の自己評価と、教師による評価を加えるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ はしご車について説明するじどう車カードを作ることができる。
ひろげる	<p>⑧ 1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>⑨ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">すきなじどう車をえらんで、じどう車カードをかこう。</div></p> <p>2 じどう車カードを書く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「じどう車くらべ」の学習を生かして、自分の選

		<p>(1) 好きな自動車を選ぶ。</p> <p>(2) 選んだ自動車の「しごと」と「つくり」を考え、色カードにまとめる。</p> <p>3 本時の学習のまとめをする。 (1) 場所を決めて音読する。 (2) 学習を振り返って、自己評価をする。</p>	<p>○ 単元の始めから自動車に関するテーマ読書をさせておく。</p> <p>○ はしご車の自動車カードをモデルとして、書く事を知らせる。</p> <p>○ 「しごと」と「つくり」を色分けしたカードに書かせる。</p> <p>○ 次時学習への学習意欲をもたせるために、観点別の自己評価と、教師による評価を加えるようにする。</p>	<p>んだじどう車についてのじどう車カードを書くことができる。</p>
本時	⑩	<p>1 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">じどう車カード発表会をしよう。</div></p> <p>2 自動車カードを発表しあう。 (1) 自動車カードを発表する。</p> <p>(2) 友だちの紹介を聞いて、感想を発表しあう。</p> <p>3 本時の学習のまとめをする。 (1) 学習を振り返って、自己評価をする。</p>	<p>○ 「話し方」「聞き方」の確認をする。</p> <p>○ 友達の自動車カードや発表についての感想や、単元の学習を通して思ったことを出し合い、学習のまとめをする。</p> <p>○ 友達が紹介した本を読んでみたいという意欲を高めさせる。</p> <p>○ 発表会について自己評価を行うとともに、一言コメント、教師による評価も加えるようにする。</p>	<p>・ わかったことや感心したことが伝わるように自動車カードの発表会をし、自分のよさ、友達のよさを感じることができる。</p>

5 本時

(1) ねらい

わかったことや感心したことが伝わるように自動車カードの発表会をし、自分のよさ、友達のよさを感じることができる。

(2) 仮説

モデルとして、代表者がポスターを発表することで、自動車カードの発表会の仕方が分かり、自分の自動車カードを発表するとともに、友達の発表や感想を聞く活動を通して、自分や友達の自動車カードのよさを感じることができるであろう。

(3) 準備

教師 感想カード、発表の仕方（掲示）
児童 自動車カード

(4) 展開 (10/10)

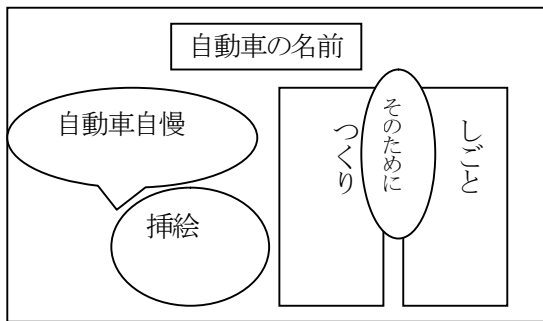
段落	主な学習活動	教師の支援	評価項目
であう	1 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">じどう車カード発表会をしよう。</div>	<p>○ 学習課題をもとにめあてを確認させる。</p> <p>○ 拡大教材文と学習計画を掲示しておく。</p>	<p>・ わかったことや感心したことが伝わるように自動車カードの発表会をし、自分のよさ、</p>
	2 じどう車カードを発表しあう。	<p>○ 前時まで、発表の練習をしておく。</p>	

友達のよさを感じることができ

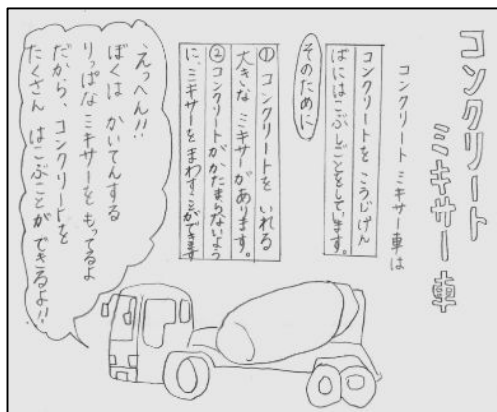
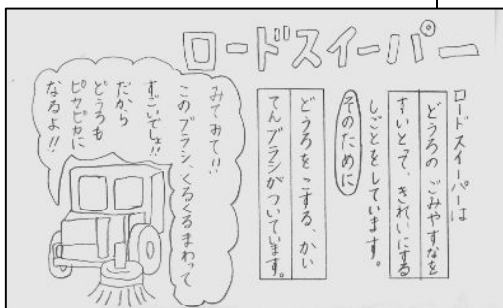
ふかめる

(1) 代表児童の発表をもとに、発表の仕方・感想の書き方を確認する。

△発表の仕方▽
 ・発表します。
 ・私が紹介する自動車は○○です。
 ・○○は、〜〜〜し〜とをしています。
 ・そのために、〜〜がついています。
 ・(というつくりになっています。)
 ・私がすごいなと思ったところを、○
 ○の自動車じまんにして読みます。
 ・これで、終わります。



<じどう車カード例>



友達のよさを感じることができ

(2) 3人ずつ発表と感想交流を行う。

○ 発表を聞いた児童は、聞いた後に付箋紙に感想を書き、発表をする。付箋紙は、じどう車カードと一緒に黒板に掲示する。【着眼2-①②】

<感想カードの例>

<p>(発表者の名前) さんへ いどうするとしよかんがあるなんて、はじめてしりました。その本をよんでみたい</p> <p>(自分の名前)</p>	<p>(発表者の名前) さんへ くるまにブラシがついていて、そうじができるなんて、おもしろいと思いました。</p> <p>(自分の名前)</p>
---	---

○ 3人発表が終わるごとに、感想を書き、発表者の順に感想交流を行う。その際、どの発表者にも感想があるように、机間巡視や声かけを行う。
 ○ 発表していない感想の付箋も、黒板に掲示させる。

<感想を書く観点>
 ・すごいと思ったこと。
 ・始めて知ったこと。
 ・おもしろいと思ったこと。
 ・不思議に思ったこと。
 ・もっと知りたいと思うこと。

3 本時の学習のまとめをする。

(1) 学習を振り返って、自己評価をする。

○ 観点別の自己評価を行い、本単元の学習を振り返らせるとともに、教師による評価を加えるようにする。【着眼3-①】

ひろげる